

さいたま市立病院だより えがお

Vol.42

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。2021年が始まりましたが、新型コロナウイルス感染症が首都圏で猛威を振るい、日々、患者さんが増えてきている状況です。感染症の対策で一番大事なのは、自分自身が感染しないことです。感染しないようにするには、感染しそうな状況から身を遠ざけることが重要です。



院長 堀之内 宏久

現在までの研究等で、新型コロナウイルスに対して以下のようなことがわかってきました。

1. 治療法が確立していないこと。
2. 予防に有効なワクチンの接種は、国内ではこれから開始を予定していること。
3. 接触、飛沫感染が主たる感染経路であること。
4. 症状が出る前から、無症状病原体保有者は感染力を持った病原体を排出していること。
5. 若い人の中にはほとんど症状を呈さない病原体保有者がいること。



上記の項目からわかることは、感染しないようにするためには、相当な注意が必要ということです。マスクを着用する、限られた人としか会わない、外で会食をしない、というのは当然ですが、家に帰ったら必ず手を入念に洗う、服を着替える、ということも必要です。病原体は、保有者の口から飛び出して、周囲のテーブルやボールペンにも付着します。これらに触って、そのまま食事をすると、手から口を通して粘膜に至り、感染する可能性があります。

感染者を減らしていくために、
皆様には、以下の対策をお願いします。

1. ステイホーム
2. 三密を避ける
3. 外での外食を控える
4. 家に帰ったら手洗いとうがい
5. マスク着用の徹底



当院では、来院される皆様にマスクの着用と手指衛生（アルコール消毒）をお願いしております。ワクチンが行き渡り、人々が交流できる社会が一日でも早く戻ることを願っております。どうぞ、引き続きご協力をお願いいたします。



救命救急センターを開設しました



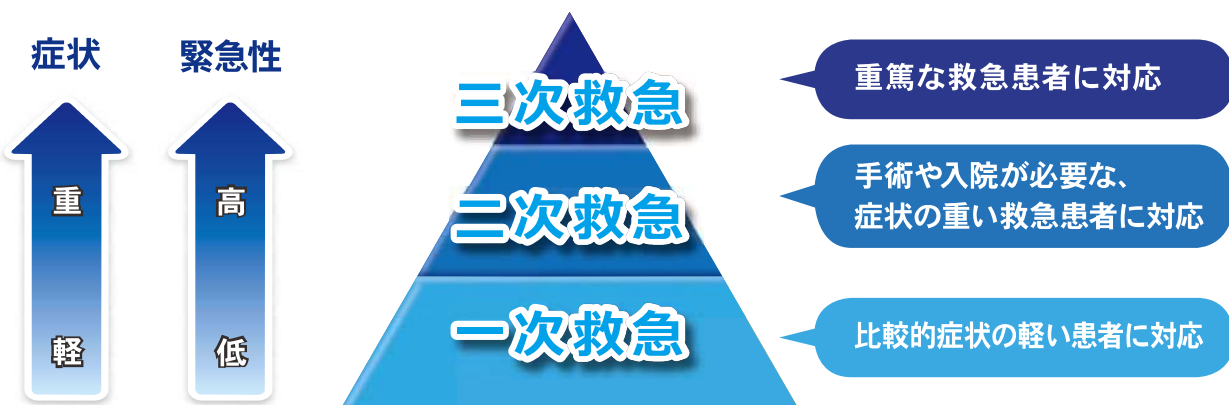
病棟



初療室

救命救急センターとは

救命救急センターとは、ショックや多発外傷など二次救急では対応できない複数の診療科の領域にわたる重症・重篤な救急患者に対して、高度な医療技術を提供する三次救急医療機関です。



救命救急センター所長 中野 公介

当院はこの度、埼玉県内9か所目（さいたま市内では3か所目）の救命救急センターとして埼玉県知事より指定を受け、令和2年12月1日より救命救急センターを開設しました。当院救命救急センターの開設は、さいたま市長の公約でもあり、また新病院建設にあたって策定された「さいたま市立病院施設整備基本計画」に則って整備が行われました。



当院救命救急センター（略して「さいたま救命」とします）は、救急科専従医8人と看護師44名体制で、重症・重篤な救急搬送傷病者に対応する初療室（初療室3床：緊急手術にも対応できる）と、救急病床20床（集中治療室（ICU）6床・高度治療室（HCU）14床）・後方病床7床の運用を行っています。また、日本医科大学附属病院高度救命救急センターと連携し、初期治療から手術、集中治療、リハビリテーションまでを一貫して行う自己完結型救命救急センターを目指しています。



「さいたま救命」が対応する病態としては、心肺停止症例、重症外傷、ショック（敗血症性ショック、重症出血性ショック、アナフィラキシーショック等）、急性中毒、重症体温異常、特殊感染症、重症意識障害、重症呼吸不全、重症急性心不全、重篤な肝不全・急性腎不全等の重症・重篤な病態が挙げられます。また、「さいたま救命」の役割としては、さいたま市内の三次救急医療体制の充実を図ることはもちろん、精神身体合併症を有する重症・重篤な傷病者を受け入れることや埼玉県東部南地域・埼玉県南部地域の救急医療体制をサポートすること等が挙げられます。

令和3年度にはドクターカー運用（当初はラピッドレスポンスカー運用）も開始する予定であり、さいたま市内3か所目の救命救急センターとして、さいたま市が運営する唯一の公立病院の救命救急センターとして求められる役割を果たし、さいたま市民・埼玉県民の皆様が安心して生活できるように努力してまいります。



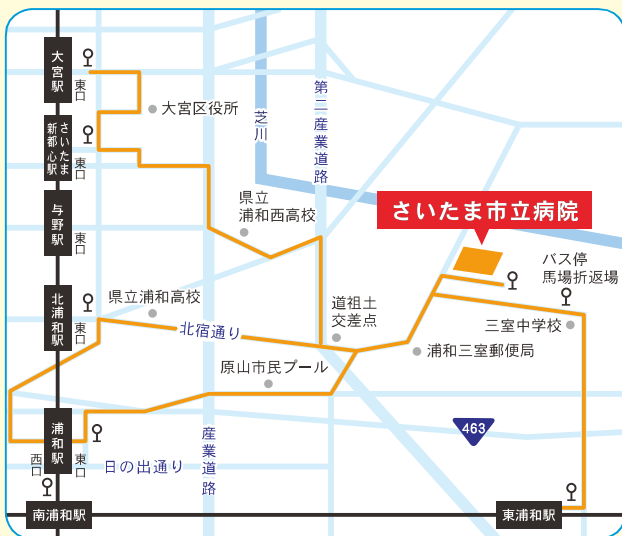
応援メッセージをいただきました

新型コロナウイルス感染症への対応に関し、多くの皆さまから感謝と応援のメッセージをいただきました。皆さまからの温かいお言葉が職員の励みになっております。これからも職員が一丸となって、安心・安全な医療を提供できるよう努めてまいります。



いただいたメッセージはスタッフエリアに掲示させていただいております。

※ 紙面の都合上、一部のご紹介となりますが、この他にも多くのメッセージをいただいております。



さいたま市立病院
 住所 : さいたま市緑区大字三室2460
 電話 : 048-873-4111
 ホームページ : <https://www.city.saitama.jp/hospital/index.html>

発行: さいたま市立病院 発行者: 院長 堀之内 宏久

アクセス

- ・JR「北浦和駅」から
東口 東武バス「さいたま市立病院」行き 終点下車(約 15 分)
- ・JR「浦和駅」から
東口 国際興業バス「南台」行き「市立病院」下車(約 20 分)
西口 東武バス「さいたま市立病院」行き 終点下車(約 25 分)
- ・JR「さいたま新都心駅」から
東口 東武バス「さいたま市立病院」行き 終点下車(約 30 分)
- ・JR「東浦和駅」から
国際興業バス「馬場折返場」行き 終点下車(約 15 分)、
下車徒歩 5 分
国際興業バス「市立病院」行き 終点下車(約 20 分)
- ・JR「大宮駅」から
東口 東武バス「さいたま市立病院」行き 終点下車(約 40 分)



※ この印刷物は1,200部制作し、1部あたりの印刷経費は60.5円です。